

Volume.043



徳山大学校友会誌

# とくだい

発行所  
徳山大学校友会

〒745-8566  
山口県周南市学園台 徳山大学内  
TEL&FAX 0834(28)7454

発行日  
平成31年3月20日

発行責任者 國廣 憲  
編集責任者 藤井 辰郎



毎年桜がキャンパスを彩ります。創立20周年記念（平成2年）に建立された、松下村塾模築（萩市松下村塾にあるものと全く同じレプリカ）の傍らには創立者高村坂彦先生の立像が大学を見守るように立っています。徳山夏祭りの吹奏楽パレード、そして神輿担ぎでは元気な徳大生の姿を披露。かけっこで1等になろう！地域の小学生対象の走り方教室では、指導にあたる陸上競技部の学生の奮闘する姿が見られました。

撮影：中村道陽・牧本彩花 (by徳山大学)

## 平成30年評議員会 開催される

平成30年度評議員会が7月7日周南市内のホテルサンルート徳山で開催されました。この日は、西日本一帯を襲った豪雨のピークの時間帯と重なり、新幹線をはじめ交通機関がマヒした状態となり、急遽電話連絡などで、委任状を取り付けるなどした形で開催されました。まず國廣会長より、挨拶の中で「このような状況の中で参加いただいた皆様に感謝申し上げます。大学あつての校友会であり、これまで何度も提言してきたが、公立化検討についても意見を大学側と意見を交わしていきたい」などと大学の現況と課題について報告されました。このあと平成29年事業報告・決算報告、平成30年度事業計画・予算について審議され承認されました。この中で井上幹事長より「大学の発展に協力していくと共に、地域の中でより大学が存在感を示していくための支援活動や、提言を行って参ります」と活動方針が述べられました。評議員会のあとは、懇親会が行われ和やかにひとときが送られました。



## 全日本大学野球選手権応援記

平成30年6月に東京ドームと明治神宮球場で行われた、第67回全日本大学野球選手権大会に本学硬式野球部が出場し、全国から卒業生が応援に駆け付けました。大学側からの応援団として周南市からバス2台で東京へ向かいました。現地では関東支部長の協力を得て、東京の吹奏楽団の応援演奏も加わり、熱い応援が展開しました。東京ドームで行われた一回戦には関東、中四国、九州沖縄各地区から卒業生が応援に駆け付けました。その甲斐もあり打棒爆発、13対1で四国学院大学に快勝しました。2回戦も東京ドームで行われ、強豪大阪商業大学に延長の末2対1で勝利しました。こうしてベスト8に勝ち上がり、明治神宮球場で行われた準々決勝では、昨年準優勝の国際武道大学に8対0で敗れました。

試合後球場の外で整列して挨拶をするメンバーに惜しめない拍手が贈られ、熱い思いを共有しました。4年生の中で、主将岡投手は社会人野球強豪の日立製作所へ進み、捕手の中熊選手は西武ライオンズで育成3位の指名を受け入団しました。今後の本学野球部の益々の活躍を期待したいと思います。



## 関東支部同窓会開催される

平成30年10月6日(土) 6時から東京都港区高輪のザランドマックスエアトリーキョーにおいて関東支部同窓会が行われました。今回の同窓会では関東一円よりかけつけていただき、新たな出会いもあり、大変有意義会となりました。



# 【懐かしのキャンパス】昭和54年（1979年）の大学案内より



理事長  
高村坂彦

## 高村理事長メッセージ 《徳山大学の特色》

徳山は、緑の山を背に、瀬戸内海公立公園を一望におさめることのできる恵まれた自然環境のなかにある。ここは近代的な大工場が多く、活気があり、しかも緑地帯もあって、落ち着いた雰囲気産業都市である。バイパスや山陽新幹線の建設によって中国地方の一大拠点になろうとしている。

徳山市が大学誘致を計画したのは、連鎖的な大学紛争の状況を考え、父兄も安心して入学させることができ、また学生も立派な大学教育を受けられる理想的な大学が欲しいと考えたからであります。

今や、学問するために東京に行くという時代は去りました。むしろ環境のよい地方に立派な大学が分散設立される時代となり、このことは先進諸国で早くから行われています。東京にある大学も、三多摩の地に、あるいは近県に分散されつつあります。

こうした意味で、私立大学の特色と公立大学の長所とを合わせ持つ理想的な大学をめざして創設された徳山大学は、教授陣容も地方大学としては稀にみる立派なものであります。

来春、大学に進学される学生諸君には、こうした大勢も考えていただき、せつかく大なる使命をもって生まれた徳山大学にすすんで受験せられることを切望する次第です。



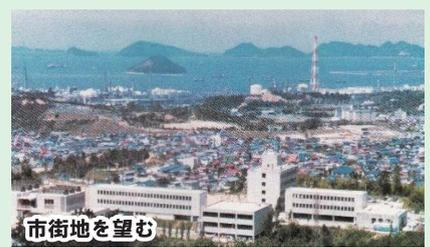
昭和54年当時



徳山大学近景

### 沿革

徳山市は産業・経済の面で著しい発展をとげてきたが、教育・文化の面での交流をはかるべく、4年制大学を招致して、周南をはじめとする地域社会の総合的開発に今後の発展を期した。こうした希いをこめて、徳山大学は昭和46年4月、開学された。当時は、経済学部経済学科のみの単科大学であったが、昭和51年には、時代・社会の要請に応えるべく経営学科を増設した。更に、将来、総合大学への雄飛に備えている。  
(※当時のパンフレットの大学沿革紹介文です。)



市街地を望む



太華山オリエンティング



中谷先生のゼミの様子

寮名	定員	入寮金(円) (入寮時のみ)	寮費(月額)	所在地	備考
光風寮	44人	10,000	個室 40,000 2人部屋 6,500 食堂(2食) 13,000 その他 500(自炊)	〒745 徳山市大字徳山 1152	選考 ・面接 ・任意願書
橋寮	36	10,000	個室 7,500 2人部屋 6,000 その他 500(自炊)	〒745 徳山市弥生町 2-22	申込時期 毎年1月~3月中旬 (定員になり次第決別)
城ヶ丘寮	28	10,000	個室 10,500 その他 500(自炊)	〒745 徳山市城ヶ丘 5-9-30	申込・手続先 学生課学寮係
日下寮	15	10,000	2人部屋 6,500 その他 500(自炊)	〒746 新南陽市大字 富田1734	入学手続後、本人が直接 申込みこと。
西松原寮	24		個室 7,000 その他 1,000(自炊)	〒745 徳山市西松原3	(53年4月現在)



学生食堂内部(4号館)

当時は入口から入ってすぐに喫食スペースとなっていました。  
テーブルの上の赤い缶は吸い殻入れでした。



(学生寮案内・・・当時の学生生活の様子がうかがえます。)

とくだいインフラオレーション

平成三十年度入学式挙行される

平成30年4月3日、平成30年度徳山大学入学式が記念館で挙行されました。今年度入学生は282名で定員を上回る入学者でした。

学長の式辞の後、新入生代表宣誓では経済学部ビジネス戦略学科、富山智史（とみやまさとし）さんが「本学の「知・徳・体」一体の教育理念を礎とし、勉学や諸活動に励み、EQ教育を修め、社会に貢献できる人間力を養いたいと思います」と宣誓を行いました。その後、来賓として周南市木村健一郎市長、周南市議会小林雄二議長、徳山商工会議所堀信明副会頭より祝辞が贈られ、本会からは古谷幸男副会長が出席しました。

式の締めくくりとして校歌斉唱が行われ、厳粛な中終了しました。このあと、校友会の協賛により、学生食堂では桜を愛でながらのお茶席、学生食堂前では歓迎も餅まきが行われ、好天の中、学内は歓迎ムードに溢れました。



大学記念館にて開催



学食前盛り上がる餅まき

4号館学生会館  
野球場屋内練習場改修

4号館学生会館は、創立以来の建物ですが、このたび耐震改修工事を行い、それに伴い、学生食堂フロアやトイレが改修され快適な空間が誕生します。3月下旬からの桜の季節その後の新緑の季節には、学生の皆さんはもとより、地域の方にも十分に楽しんでいただける環境が整います。  
(平成31年4月中旬完工予定)



また野球場の屋内練習場も外観改修や人工芝敷設などの工事が行われ、練習環境が整えられました。



ポプラ祭今年も開催



11月3日（土）4日（日）第48回ポプラ祭が開催されました。恒例となった外国人による日本語弁論大会や、野外ステージでは、徳山大学OBと合同の吹奏楽演奏や、体育教員指導による体力測定コーナーなど多彩な企画や、模擬店での飲食などを多くの来場者で楽しみました。本学の大学祭実行員会では伝統的にごみ分別収集を通して、来場者により快適な空間で楽しんでいただけるよう努力しており、今年も学生たちの懸命な姿を見ることができました。

## 岡野啓介学長退任



岡野啓介学長が平成31年3月31日任期満了を迎え、退任されることとなりました。岡野先生は、平成2年10月に本学に就任、その後、平成15年に経済学部長、平成22年から学長に就任されました。この間ビジネス戦略学科のスポーツマネジメントコースの保健体育教職課程設置をはじめとした学部改革、EQトレーニング、文部科学省補助事業であるCOC事業・AP事業・ブランドイング事業を推進するなど数多くの教育改革に尽力して来られました。

### 岡野学長のおもな経歴

- 1979年 日本学術振興会・奨励研究員
- 1980年 早稲田大学・理工学研究所・奨励研究員
- 1982年 早稲田大学理工学部・物理学科・助手(1985年まで)
- 1985年 西独ジューゲン(Siegen)大学・物理学科・助手(1990年まで)
- 1990年 徳山大学助教授
- 1999年 徳山大学教授(現在にいたる)
- 2003年 経済学部長就任
- 2010年 学長就任
- 行政関連委員
- 周南(徳山)市・公民館運営委員(2001年~2007年)
- 周南(徳山)市・社会教育委員(2005年~)ほか多数



## 《岡野学長 思い出スナップ》



- ① 合宿形式のガイダンスで班の学生と記念撮影(平成8年秋吉台)
- ② EQトレーニングで学生に指導(平成22年)
- ③ オープンキャンパスにて挨拶(平成22年)
- ④ ポプラ祭で展示の地域の方と共に(平成25年)
- ⑤ 誰でも記録会(陸上競技)表彰式(平成31年)



## 富吉先生・中光先生定年退職

本会会員である、経済学部富吉繁貴先生と福祉情報学部中光義亮先生が平成31年3月をもって定年退職を迎えられました。

### 富吉繁貴 准教授



昭和51年 総合経済研究所職員  
昭和57年 経済学部助手  
昭和63年 経済学部講師  
平成6年 経済学部助教授

### 中光義亮 教授



昭和62年 徳山女子短期大学講師  
平成3年 徳山女子短期大学助教授  
平成9年 徳山女子短期大学教授  
平成16年 徳山大学福祉情報学部教授  
平成25年 エクステンションセンター長(平成29年迄)

## このほかの教職員の移動

- 前田 一篤 経済学部(依願退職)
- 前田 瞬 福祉情報学部准教授(依願退職)
- 熊代 和樹 経済学部講師(依願退職)
- 三戸こゆき 入試室室長(定年退職)
- 以上(平成31年3月31日付け)



## 徳山大学次期学長に高田隆氏選任



徳山大学を運営する、徳山教育財団は平成31年2月21日理事会を開き、次期学長に高田隆氏を選任しました。任期は平成31年4月から4年間です。

### ◆高田隆次期学長のおもな経歴

<b>学 歴</b>	昭和53年3月25日	広島大学歯学部卒業
	昭和57年3月25日	広島大学大学院歯学研究科修了
<b>学 位</b>	昭和57年3月25日	歯学博士
<b>職 歴</b>	昭和57年4月 1日	広島大学助手（歯学部）（昭和59年5月9日迄）
	平成13年4月 1日	広島大学教授（歯学部）（現在に至る）
	平成14年4月 1日	広島大学大学院教授（医歯薬学総合研究科）（平成24年3月31日迄）
	平成24年4月 1日	広島大学大学院教授（医歯薬保健学研究科）
	平成20年4月 1日	広島大学歯学部長（平成24年3月31日迄）
	平成27年4月 1日	広島大学理事、副学長・産学連携担当（現在に至る）

### （社会産学連携担当としての活動）

- |   |   |
|---|---|
| <p>1) 社会・地域連携に関すること<br/>アントレプレナーシッププログラムの実施<br/>地域連携推進事業の実施（特に広島県、東広島市との連携）<br/>COC (Center Of Community) 事業の実施</p> | <p>2) 産学官連携に関すること<br/>企業、団体との連携促進<br/>産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム その他</p> |
|---|---|



### ●住所変更等について●

お問い合わせ (0834)28-7454

#### 卒業後の住所変更について

お問い合わせ  
Contact form



校友会では卒業生の皆様の住所変更等についてホームページから手続きができます。徳山大学のホームページから「卒業生の皆様へ」のタブを押し、「徳山大学校友会」のバナーを押していただくと左記のバナーがありますので、ここをクリックしてください。

## 2019年度校友会 評議員会開催のお知らせ

日時 2019年6月8日（土）16時～  
ホテルサンルート徳山にて

◎詳細については評議員（2019年度～2021年度）の方に5月中旬に送付いたします。



### —訃報—

評議員 延原 誠さん

校友会評議員延原誠さん（19期卒）が平成30年12月お亡くなりになりました。延原さんは、岡山支部の立ち上げや、水泳部OB会（水練会）中枢として活躍され、評議員としても永くお務めいただきました。また昨年の全日本大学選手権では東京ドームに応援に駆け付けるなど、人一倍母校愛の強い方でした。心からご冥福をお祈り申し上げます。

### 《プレゼントコーナー》

#### ～山口県名産品～

#### ②山懸本店（周南）

焼酎2本セット（米・芋）  
3名様

おなじみ周南市徳山の  
地元焼酎です。



#### ③杉本利兵衛本店（防府）

金銀竹輪セット  
3名様

お酒にも合う食感が独特  
人気のある竹輪です。



希望商品、氏名、年齢、住所、電話番号、会誌へのご意見・ご感想をお書き添えの上、

#### 郵送の場合

〒745-8566

山口県周南市学園台 徳山大学校友会

#### Eメールの場合

kouyukai@tokuyama-u.ac.jp  
ご送付ください。

※ご意見・ご感想は、誌上・HP上で掲載されることがありますので、予めご了承ください。また、個人情報については、事務連絡のみに使用させていただきます。

### 編集後記・お礼

校友会誌を隔年発行でWEB版にという方向にありましたが、今後も毎年一度は印刷物として編集して、卒業生の皆様の元へお届けすることとなりました。よろしければ皆様の近況もプレゼント応募に添えてお送りください。今後とも、ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます（中村）

### —編集スタッフ—

企画広報部長 藤井辰郎（25期）中村道陽（11期）  
藤田美恵（事務局）  
印刷・デザイン：東洋印刷 協力 徳山大学